

事務事業名	鬼怒公園開発株式会社支援事務				担当	総務部 企画課 企画調整係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-8102		
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和63 年度～）		
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1総務管理費	6企画費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>もおか鬼怒公園開発株式会社は、昭和63年にフレ・キヌ・スコーラー計画（鬼怒川河川敷や隣接する堤内地を使い、自然環境を保全しながら自然観察、スポーツ、遊び、生涯教育の場を整備する計画で、旧建設省関東地方建設局と真岡市が策定）に基づき、ゴルフ場を運営する会社として、真岡市等が出資して設立された第3セクターである。真岡市の生涯スポーツ・レクリエーションの振興のため設立した第3セクターであり、真岡市は筆頭株主として経営支援をしている。なお、付帯事業として、真岡井頭温泉とチャットパレスの管理運営業務を指定管理者として真岡市から受託している。代表取締役は真岡市長。</p> <p>株主：真岡市（出資82000千円出資比率8.2%）足利銀行（出資5000千円出資比率5%）常陽銀行（出資5000千円出資比率5%）他市内金融機関。</p> <p>平成20年度からゴルフ場の長期借入金の金利負担を軽減するため、低金利での短期貸付を実施している。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
22年度実績 株主総会、取締役会への参加 貸付金の貸与事務		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 株主総会参加回数	回	1	1	3	2	2
		イ 取締役会参加回数	回	3	3	2	2	2
		ウ 貸付金の貸付額	千円	-	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
23年度計画 2 2年度実績と同様。		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
もおか鬼怒公園開発株式会社		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 取締役数	人	8	10	11	11	11
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
もおか鬼怒公園開発株式会社の安定経営		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア おもか鬼怒公園開発税引き前純利益		14,767	25,803	14,371	-33,847	
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
良好な環境のゴルフ場を市民に提供する		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア ゴルフ場利用者のうち市民の割合	%	14.4	19.3	22.5	23.7	
		イ ゴルフ場利用者数	人	52,640	56,030	56,748	50,723	
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0
		一般財源	千円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)		千円	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	0
		人件費計(B)	千円	168	167	162	171	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	168	1,000,167	1,000,162	1,000,171	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	昭和63年にフレ・キヌ・スコーラー計画（鬼怒川河川敷や隣接する堤内地を使い、自然環境を保全しながら自然観察、スポーツ、遊び、生涯学習の場を整備する計画で、建設省関東地方建設局と真岡市が策定）に基づき、ゴルフ場を運営する会社として、真岡市等が出資して昭和63年に会社が設立され、設立時から筆頭株主として経営に関与している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成20年度にゴルフ場部門の中期計画を策定し、長期借入金の金利負担を軽減し、早期の返済を市が支援することとなった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	長期借入金を早期に完済する為に財政支援等を検討すべきではないか。（議会一般質問） 利用者の声をより反映する為、利用者代表を取締役に加えてはどうか。（議会一般質問）

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 生涯スポーツ・レクリエーションの振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある もおか鬼怒公園開発株式会社は、フレ・キヌ・スコレー計画推進のために真岡市が中心になって設立した第3セクターであり、市が支援することは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある もおか鬼怒公園開発株式会社の安定経営を目指すものであり、対象と意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 平成21年度は、ゴルフ場入場者数が県内2位となるなど、経営は安定しており、長期借入金の残高が減少している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない もおか鬼怒公園開発株式会社は市の施策推進の為に設立した第3セクターであり、真岡市が支援をやめることは困難である。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は貸付金であるが、貸付金の目的は低金利による貸付を市が行うことで金利負担を軽減することであり、削減すると金利負担が増えてしまうので成果が下がってしまう。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議への参加と貸付金に係る事務処理に要する人件費であり、削減困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本事業は、良好な環境のゴルフ場を市民に提供することである。 (ゴルフ場利用者は、使用料を負担している。)

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							